

★今号の特集★



夏休み、本の森へでかけよう！

わくわくドキドキの冒険物語、おもわず笑っちゃうおもしろいお話、
知ってびっくり知識の本など、図書館にはいろいろな本があります。
まるで、本の森みたい…。お気に入りの1冊をさがしに、図書館に行ってみよう！

た
ん
た
新
聞

たんた新聞編集部
〒270-1147
我孫子市若松26-4
我孫子市民図書館
TEL.04-7184-1110

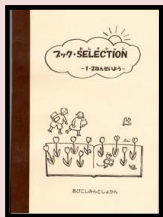


もっと読みたい人には、
『ブックセレクション』。

この新聞のほかにもおススメの本をたくさん紹介しています。

ブックセレクションは

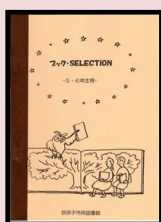
- 図書館でもらえます。
- 図書館ホームページで見られます。



1・2年生



3・4年生



5・6年生

夏休みの宿題に役立つ自由研究・

工作などの本をまとめて出しています。

アピスタ本館

湖北台分館

布佐分館

の

児童書コーナーをみてみてね。



わからないときは
図書館の人にきいてみよう！

2 ねんせいにおすすめ

「ジェインのもうふ」

アーサー・ミラー／作
厨川圭子／訳
アル・パーカー／絵
偕成社 (2-ミ)



ジェインが、^{あか}赤ちゃんの時からだいじにしてきたピンクの毛^{もう}布。そのだいすきな「もーも」もジェインが大きくなるにつれて、やぶれて、すりへって、小さくなってしまいました。それでもすてられず、^{たいせつ}大切にしていたのに、ある日、あおとりがまどべにやってきて…。



「たんじょうび」

ハンス・フィッシャー／文・絵
大塚勇三／訳
福音館書店 (EAフ)

リゼッテおばあちゃんの家には、^{いえ}たくさんのどうぶつがいます。なかでも、ねこのマウリとルリ、いぬのベロはいつもいっしょ。うちのしごと^{てつだ}も手伝います。3びきは、おばあちゃんのたんじょうびにとびきりのおいわいをしようとかがえます。

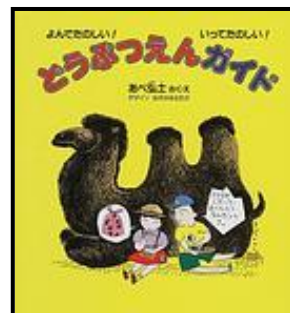
- 「きかんしゃ1414」 (偕成社) 2-フ
- 「くまの子ウーフ」 (ポプラ社) 1-カ
- 「こねこのトムのおはなし」 (福音館書店) EAポ
- 「どれみふあけるけろ」 (あかね書房) 1-ヒ
- 「ねむりひめ」 (福音館書店) EAホ
- 「はらぺこオオカミがんばる」 (岩波書店) 2-ス
- 「ぼくのわたしのこんちゅうえん」 (福音館書店) EMカ
- 「ポケットのたからもの」 (リブリオ出版) 2-コ

1 ねんせいにおすすめ

- 「一年一組先生あのね」 (理論社) 911イ
- 「うさぎのみみはなぜながい」 (福音館書店) EAキ・MEAキ
- 「エルマーのぼうけん」 (福音館書店) 1-ガ
- 「がちょうのペチューニア」 (富山房) EAデ
- 「かにむかし」 (岩波書店) EAシ・MEAシ
- 「たんだのたんけん」 (学研) 1-ナ
- 「はるになったら」 (徳間書店) EAウ
- 「ゆうびんやさんはだれ？」 (福音館書店) EAコ

「どうぶつえんガイド」

あべ 弘士／さく・え
なかのまさたか／デザイン
福音館書店 (EMカ)

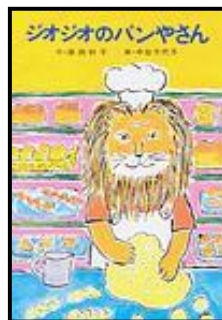


どうぶつえんで^あ会える
トラ、キリン、ゾウなど41
のどうぶつをしょうかい

する絵本です。ラクダのこぶはおべんとうなの？リスはちょきんがすき？など、この本をよんで、どうぶつたちのおもしろさをたくさんしろう！

「ジオジオのパンやさん」

岸田衞子／作
中谷千代子／画
あかね書房 (1-キ)



どうぶつたちは、らいおんのジオジオのやくパンがだいすき。おみせには、しまうまパンやきりんパン、ひなぎくパンなどがならんでいます。かけすやりす、かんがる一たちがかいにきます。あるひ、しごとをさがしているロバのギターひきがやってきて…。

4年生におすすめ



「ベロ出しチョンマ」

齋藤隆介／作
滝平二郎／絵
理論社（1-サ）

長松はいつも、まゆ毛をハの字に下げてペロッと舌を出し、しもやけの手当てをいたがる妹をわらわせていた。そんなある日、父が飢える村人の苦しみをつたえたことで、一家は処刑されることに。その時長松は…。他にも14のお話が入っています。

「旅の絵本 I～Ⅷ」

安野光雅／[作]
福音館書店（EAア）



どこかの国、森や野原。畑仕事をし、くだもの売人。文字のない絵本だけど、まるで空からながめている気分で見ると、いろいろな想像ができます。

どのページにもかならずひとりの旅人がいるので、さがしてみてもいいでしょう。あなたはみつけれられるかな？

「ゆうかなな女の子ラモーナ」

（学研 2-リ）

「ものいうなべ」

（岩波書店 2-オ・M2-オ）

「年とったばあやのお話」

（岩波書店 2-7）

「てんぷらぴりぴり」

（大日本図書 911マ）

「だれも知らない小さな国」

（講談社 1-サ）

「太陽の木の枝」

（福音館書店 2-ツ・M2-ツ）

「エーミールと探偵たち」

（岩波書店 2-ケ）

「イソップのおはなし」

（岩波書店 2-イ）

3年生におすすめ

「目をさませトラゴロウ」

（理論社 1-オ）

「なにをしているかわかる？」

（朝日新聞社 EAナ）

「しばてん」

（偕成社 EAタ）

「詩のランドセル 3ねん」

（らくだ社 911シ）

「黒い島のひみつ」

（福音館書店 EAエ）

「きかんぼのちいちゃいもうと」

（福音館書店 2-エ）

「火よう日のごちそうはひきがえる」

（評論社 2-エ）

「おぼけのトツカビ」

（太平出版 2-チ・M2-チ）

「しらゆきべにばら グリム童話」

バーバラ・クーニー／絵 鈴木晶／訳 ほるぶ出版（EAク、MEAク）



しらゆきとべにばらは、おかあさんと3人でくらしていました。

ある冬の日から、大きなくろいくまが家にくるようになったり、

おつかいのとちゅうには、いやなこびとにであうようになります。その小人、じつはくまにまほうをかけたわるい小人だったのです。

「ミリー・モリー・マンデーのおはなし」

ジョイス・L・ブリスリー／さく
上條由美子／やく
菊池恭子／え
福音館書店（2-ブ）



ミリー・モリー・マンデーは小さな女の子。とても楽しくていそがしい毎日です。おつかいに行ったり、キャンプをしたり、お店ばんをしたり…自分だけのおへやをもらったり！明日は何かおこるのかな？つづきに、「ミリー・モリー・マンデーとともだち」もあります。

6年生におすすめ



「子どもに語るグリムの昔話」
1～6」

佐々梨代子・野村 法ノ訳
こぐま社（2-グ、M2-グ）

この本は、200ほどあるグリムの昔話の中から、64話を選んで6冊にまとめたシリーズです。有名な「赤ずきん」や「白雪ひめ」、親指ほどの小さな男の子が冒険する「親指こぞう」、「ルンペルシュティルツヘン」という小人の名前をあてる話など、たくさんの物語が楽しめます。

「グリーン・ノウのお客さま」

ルーシー・M・ポストン／作
亀井俊介／訳
ピーター・ポストン／絵
評論社（2-ポ）



みなし子のピンは動物園でゴリラのハンノーと出会います。それからピンは、夏休みをイギリスのいなかグリーン・ノウですごすこととなりますが、お客さまがそこにやってきたのです。深いきずなで結ばれたひとりと1匹きの友情の物語。

- 「あの年の春は早くきた」 (岩波書店 2-ネ)
- 「風のにってきたメアリー・ポピンズ」 (岩波書店 2-ト)
- 「クローディアの秘密」 (岩波書店 2-カ)
- 「死の川とたたかう」 (偕成社 498)
- 「二年間の休暇」 (福音館書店 2-ヴ)
- 「チャイコフスキー」 (リブリオ出版 289 円)
- 「ハヤ号セイ川をゆく」 (岩波書店 2-ピ)
- 「肥後の石工」 (岩波書店 1-イ)

5年生におすすめ

- 「大きな森の小さな家」 (福音館書店 2-ワ)
- 「黒いお姫さま」 (福音館書店 2-ク)
- 「黒ねこの王子カーボネル」 (岩波書店 2-ス)
- 「子ブタシープピッグ」 (評論社 2-キ)
- 「太陽の東 月の西」 (岩波書店 2-タ)
- 「ドリトル先生アフリカ行き」 (岩波書店 2-ロ)
- 「ブナの森は緑のダム」 (あかね書房 653)
- 「真夜中のパーティー」 (岩波書店 2-ピ)

「ギルガメシュ王ものがたり」

ルドミラ・ゼーマン／文・絵
松野正子／訳
岩波書店（EAゼ）

文字を発明したメソポタミアの人々が、粘土板に残した神話「ギルガメシュ叙事詩」を元に作られた本です。

つづきに、「ギルガメシュ王のたたかい」「ギルガメシュ王さいごの旅」があります。



「モグラ原っぱのなかまたち」

古田足日／作
田畑精一／絵
あかね書房（1-フ）



あきら・なおゆき・かずお・ひろ子はなかよし4人組。いたずらをしておこられ、見直してもらうために秋の展覧会に虫をたくさんつかまえて出すことにします。そこで、虫をたくさんとるにはどうしたらいいのか、4人で考え始めました。

へんしゅうこうき

せっかくの夏休み、おやつも自分で作ってみよう！『ポップコーンをつくろうよ』（トミー・デ・パオラ／作 福本友美子／訳 光村教育図書）
なんてどう？図書館にはかんたんなお料理の本もたくさんあるよ。

